

週間漁海況情報—2018年第41号

平成30年10月23日

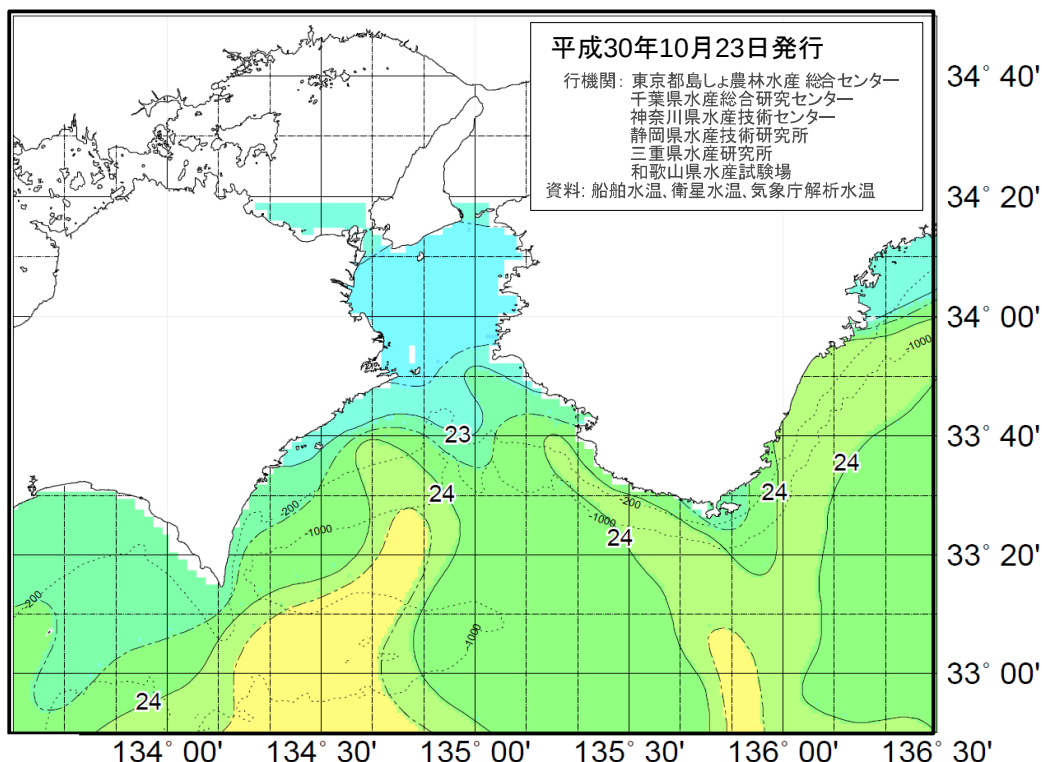
徳島県立農林水産総合技術支援センター
水産研究課海洋生産技術担当

海況

1. 周辺海域の水温(10月17日～10月23日)

黒潮は、室戸岬沖では南下して先週に引き続き「離岸」で推移した。潮岬沖も同様に「著しく離岸」で推移した。

23日の徳島沿岸の水温は、播磨灘、紀伊水道で22℃台、海部沿岸で22～23℃台となった。紀伊水道から海部沿岸の全域で内海水が広がり、先週より1℃程度下がっている。黒潮の表面水温は25～26℃台であった。



※黒潮の離接岸の表現

室戸岬沖 接岸: ~25NM やや離岸: 25~45NM 離岸45~65NM 著しく離岸: 65NM~
潮岬沖 接岸: ~26NM やや離岸: 25~56NM 離岸56~86NM 著しく離岸: 86NM~

(いずれも正南方向)

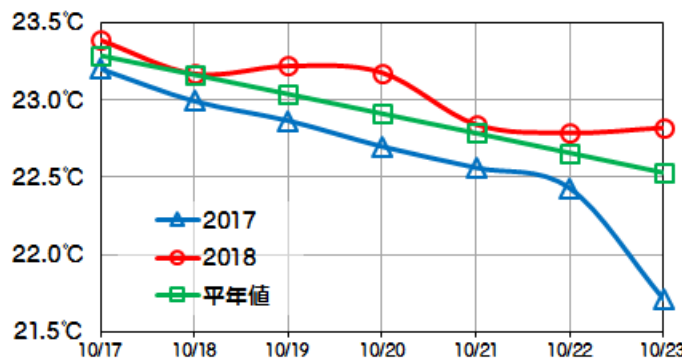
海況図は、平日夕方に水産研究課HPの「地先水温情報」のページに、前日分と当日分を掲載しています。

2. 地先水温(10月17日～10月23日)

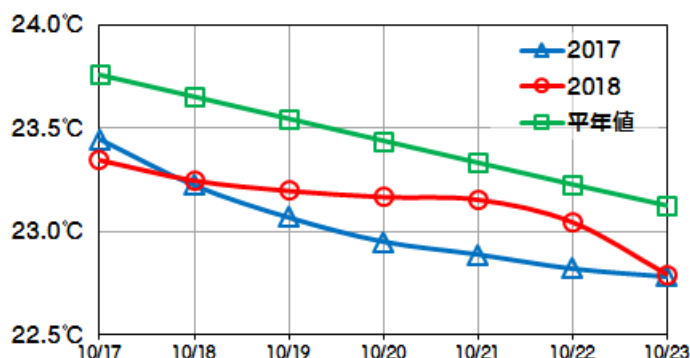
鳴門地区の地先水温は、「平年並み」の22.8℃～23.4℃で推移した。

日和佐地区の地先水温も同様に、「平年並み」の22.8℃～23.3℃で推移した。

鳴門地区



日和佐地区



※水温の高低 平年並: 平年値±0.5℃未満, やや高め/やや低め: 平年値±0.5℃以上1.5℃未満
高め/低め: 平年値±1.5℃以上2.5℃未満, かなり高め/かなり低め: ±2.5℃以上

※平年値 1982年～2016年の平滑平均値

3. 週間予報(10月24日～10月30日)

黒潮は、室戸岬沖では「離岸」で推移する見込み。潮岬沖では、「著しく離岸」で推移する見込み。

地先水温は、鳴門地区、日和佐地区ともに「平年並み」の22℃台で推移する見込み。

漁況

2018年10月15日～10月21日（旧暦8月25日～9月1日）

1. 紀伊水道（標本漁協数:3）

船びき網では、シラスが37.5ト水揚げされた。

釣りでは、タチウオが0.3ト水揚げされた。

延縄では、サワラが大きく増えて16.9ト、タチウオが特大主体に0.4ト、シマフグが0.4ト水揚げされた。

建網では、カワハギが大主体に1.0ト水揚げされた。

小型定置網では、カンパチが0.6ト、ブリがめじろ級主体に0.3ト水揚げされた。

底びき網では、タチウオが2.6ト、ハモが1.3ト、クマエビが0.4ト水揚げされた。

2. 海部沿岸（標本漁協数:4）

釣りでは、カツオが11.1ト、タチウオが増えて1.3ト、シイラが小主体に0.3ト、アオリイカが0.2ト水揚げされた。

小型定置網では、マアジが小小主体に1.5ト、マサバが0.7ト、タチウオが0.5ト、マルソウダが0.5ト、アオリイカが0.2ト水揚げされた。

漁獲量集計表（漁獲が0.2ト以上のものを抜粋）

海区	漁業種類	出漁隻数 (のべ)	魚種	漁獲量	(kg)	銘柄	前週比※
					1日1隻あたり 平均漁獲量		
紀伊水道	船びき網	100	シラス	37,500	375		↗
	釣り	10	タチウオ	289	29		↗
	延縄	131	サワラ	16,897	129		↗↗
		47	タチウオ	364	8	特大主体	↗↗
		66	シマフグ	351	5		↗
	建網	105	カワハギ	1,019	10	大主体	↗
	小型定置網	16	カンパチ	576	36		↘
		14	ブリ	347	25	めじろ主体	↘
	底びき網	26	タチウオ	2,576	99		→
		34	ハモ	1,346	40	中主体	↘↘
		35	クマエビ	424	12		↗↗
		26	イボダイ	392	15		↘
海部沿岸	釣り	3	カツオ	11,101	3,700	小主体	→
		26	タチウオ	1,322	51		↗
		2	シイラ	286	143	小主体	↘
		32	アオリイカ	201	6		↗↗
	延縄	28	キダイ	900	32	大主体	↗↗
	小型定置網	38	マアジ	1,507	40	小小主体	↗↗
		25	マサバ	704	28		↗↗
		37	タチウオ	520	14		↘
		32	マルソウダ	512	16		↗↗
		55	アオリイカ	214	4		↗↗
		18	とびうお類	205	11		↗↗
		16	イサキ	203	13	小小主体	↗↗

※ 前週比 200%以上:↗↗ 120-200%:↗ 80-120%:→ 50-80%:↘ 50%未満:↘↘